



今木啓一郎の 古今東西



2018 年
夏号
vol.9

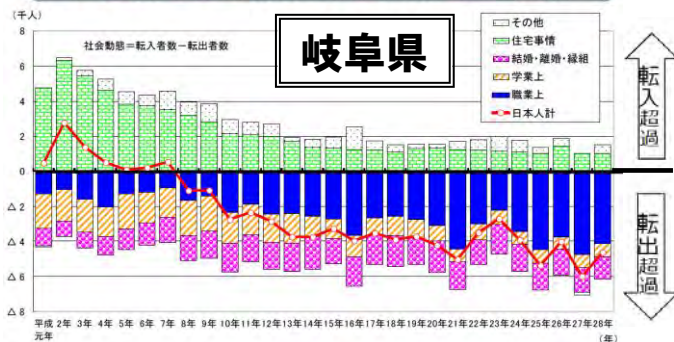
発行人 今木啓一郎 / 〒501-0222 瑞穂市別府 438-1 ☎058-327-6331 (2018 年 7 月 30 日発行)

国立社会保障・人口問題研究所による『日本の地域別将来推計人口』(平成30(2018)年推計)等によれば、少子高齢化により日本の総人口は、2015年から30年後の2045年の間で2千万人以上減少との予想。そして、死亡数が出生数を上回る「自然減少」が年々拡大し、加え転出者が転入者を上回る「社会減少」(いわゆる転出超過)が続く岐阜県については、平成30年4月1日現在、推計人口200万1千230人であり、残念ながら県民200万人という大台割れが目前に迫り、2045年には約156万人まで減

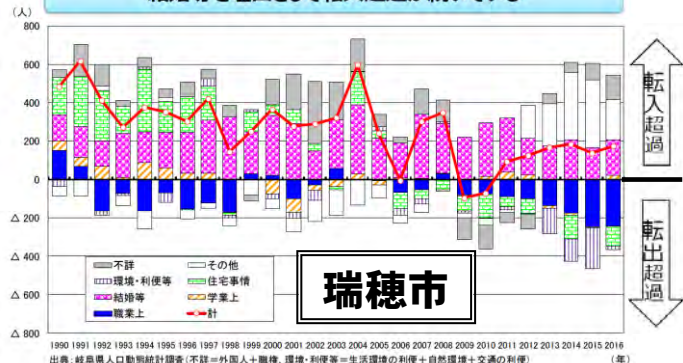
減り続ける
ぎふ県民

瑞穂市 将来推計人口
(2030年)
57,448人

住宅事情による転入が減り、H8年以降職業、結婚、学業による転出超過が続く構造に変化はない。近年、職業による転出超過は拡大。



結婚等を理由として転入超過が続いている



移動理由別転入転出差の推移

出展：統計からみた岐阜県・市町村の現状
岐阜県環境生活部統計課

ることはできない。今は、県の統計より掘り下げたデータが重要と考え、アンケート調査や他の調査データの分析などを検討したい。

と瑞穂市との転入転出理由に
少と予想。
その中で瑞穂市は依然として人口増加傾向という稀な街です。ちなみに瑞穂市の人口は、5月末日現在54,373人ですが、前述の予想によれば、2030年には57,448人に増加するものの、その後は長期的に減少に転じるようです。

答) 現在の調査項目では確認する統計データを比較しますと著しい違いがあります。それらの点などを踏まえ次のことを6月の一般質問で確認しました。
問) 統計によれば1990年以降一貫して「結婚等」を理由として、20代〜30代を中心に大きく転入超過が続いている現状をふまえ、婚姻届や転入(出)届をもとにカップル(男女)について、瑞穂市生まれ或いは育ちなどの係わりの有無を詳しく調査、分析されているか。

感覚だけにとらわれず 冷静にデータを見て論議を

●なぜこの点にこだわるのかと言え、もし、カップルの二人が、当市と何ら係わりがない方が多いのであれば、現在の婚活事業を告知する場所や、募集対象等を見直す必要性があり、逆にカップルのいずれかの方が当市と係

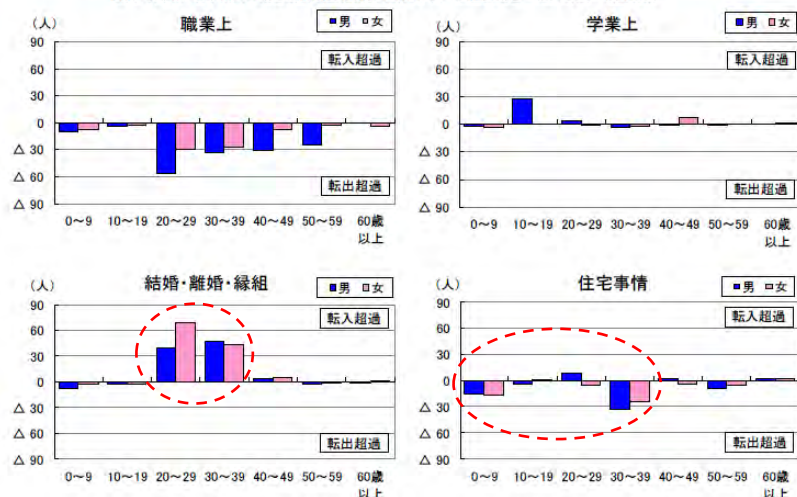
居の可能性が高いのであれば、同居・近居の支援策の充実を考

次に、人口が減り続けている岐阜県において転入超過となっている「住宅事情（家を購入した、家を新築したなど）」に

わりがあり、結婚を機に親との同居、近

結婚等を理由として20～30代を中心に大きく転入超過

出典：岐阜県「岐阜県人口動態統計調査結果」（平成28年）※社会動態＝転入者数－転出者数



主な移動理由でみた世代別日本人の社会動態(瑞穂市 H28)

出展：統計からみた岐阜県・市町村の現状 岐阜県環境生活部統計課

転出超過に陥っています。また、左上のデータによれば30代と10歳未満の男女が転出超過となっています。これより、10歳未満のお子さんをもつ30代のご夫婦が、市外で新居を購入し転出していることが想像できます。また、JR穂積駅拠点化構想の報告書によると、都市間同士の社会移動で瑞穂市は一宮市と本巣市へ転出超

過となっている。今後、瑞穂市は「居住地」としての魅力の底上げを図らなければ、更なる「転出超過」となる可能性も考えられると警鐘を鳴らしています。

問) 2006年度以降、転出超過に陥っている「住宅事情」の改善には「JR穂積駅拠点化構想推進事業」を着実に進める必要がある。その為、旧駅南公民館、農業系金融共済店舗や県関連住宅事業施設の3つの駅周辺の大きい土地の動向が重要と考えます。現状並びに所有者の意向や動向は。

答) 旧駅南公民館は、当初予算で解体工事を計上し、今年度中の建物の取り壊しに向けて進めていく。金融共済店舗は、まちづくり計画(素案)で重要な用地となっていることから、6月初めに市が駅周辺用地としてお願いしたい旨を伝えた。県関連事業の施設は、市の計画は伝えてあるが、今後の方針はまだ確認できていない。



～つづいて～

平成30年6月から、市のPR動画が俳優平山浩行氏(瑞穂市出身)編から「若い世代がイキイキ暮らすまち」をテーマに、瑞穂市出身のストリートダンス界において日本を代表するKARIN(カリン)さんをメインに、市内の大型ショッピングセンターでダンスを繰り広げる「アメリカン編」と「マンボ編」が配信されています。是非、市のホームページでご確認ください。

ところで、「マンボ」とは土盛りにより高架されたJR線路が瑞穂市内を東西に横断しているため、人や車が南北に行き来するため、から作られた独特の雰囲気をもつJR東海道線下に点在するトンネル(10ヶ所程)のことです。

「マンボ」を観光資源に！

YouTube



【瑞穂市PR動画】マンボ編



【瑞穂市PR動画】アメリカン編

出展 瑞穂市ホームページ / YouTube